

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現段階では終末期の利用者はいないが、入居者もいつ、どのような変化があってもおかしくないご高齢の方ばかりの為、重度化や終末期に向けた支援への体制作りが必要。	どの利用者也安心して暮らしていただけるよう、緊急時の対応について具体的にイメージ出来るような体制を作っていく。職員全員が対応できるように情報の共有をしていく。	訪問看護ステーションとグループホームが医療連携契約(10/1契約済)することで、訪問看護師、主治医と協力体制が整い、且つ職員全員が情報の共有を行うことで迅速に支援することができる。	3ヶ月
2	35	これまで施設で定期的に避難訓練に取り組んでいたが、地域住民、消防団との実際の訓練は行っていなかった。	まずは地域住民、消防団とのつながりを持ち、感染症防止策などを十分に考慮したうえで、次に利用者を交えて消防訓練、防災訓練を行っていく。	町が主となっている、防災訓練の日程と消防団や避難経路、場所の確認を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。